

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ 計画・設計・施工の最適化 【5】 新技術・新工法の採用 施策12】

ポストヘッドバー工法の採用によるコスト改善

工事名：新千歳空港 地下道耐震対策工事

概要：【従来】貫通鋼棒等の設置 → 【新】ポストヘッドバー工法の採用

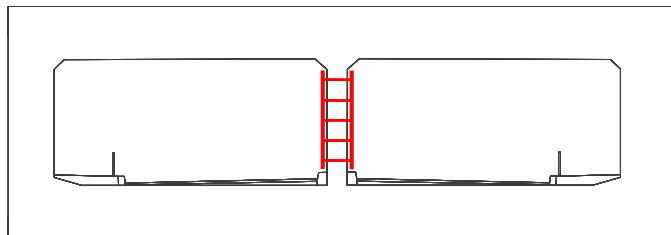
効果

○ 地下道トンネルの耐震補強の方法について、設計段階で新技術の活用を考慮することにより、コスト改善が図られた。

○ 専用の削孔機械により、地下道トンネルの内側から耐震補強が可能。

■ 工事費を、**632百万円**から**361百万円**に改善
(改善額 **271百万円** 改善率 **約43%**)

従来（貫通鋼棒等の設置）

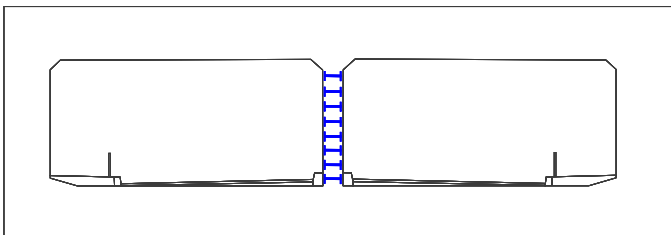


【従来】

既設コンクリート壁に鋼棒を貫通させ、鋼板を挟んで補強



今回（ポストヘッドバー工法）



【新】

既設コンクリート壁を専用機械で削孔後、ポストヘッドバーと呼ばれる鉄筋を挿入して補強

施工手順

※ポストヘッドバー工法協会のHPより引用

